

## 事務事業評価調書

事務事業名	福祉保健サービス苦情処理事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正内容	行政不服審査法の全部改正に伴う引用する行政不服審査法の規定に係る整備											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	吹田市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	福祉保健サービスを利用している人や、申請をしても利用できなかった人											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市が行った福祉保健サービスに係る市民の苦情を公平かつ中立的な立場で簡易迅速に処理します。												
(7) 事業概要	市が行った福祉保健サービスの内容に対する苦情や、申請をしても利用できなかった等の苦情申立てを、福祉オンブズパーソンが公正・中立な立場で苦情内容を調査・審査し、必要と認めるときには市に対して是正するよう勧告したり、制度の改善について提言等を行います。苦情の申立ては、原則として書面で行い、福祉オンブズパーソンとの面談日は予約制で実施しています。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		120	0	120	0	120							
	人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
		総額(B)	千円	830	0	836	0	817						
	総事業費(A+B)		950	0	956	0	937							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		950	0	956	0	937							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		950	0	956	0	937								
財源計(C+D)		950	0	956	0	937								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	申立件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	市民等が苦情等について申立てるものであり目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
③	活動内容		目標					
			達成状況					
(4) 総合評価	④	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
		評価の説明	市民の苦情対応窓口としては、市民総務室の公聴相談業務があります。介護保険制度についての苦情は大阪府国民健康保険団体連合会で対応しています。行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく審査請求があります。 上記のように、苦情処理の仕組みは様々にありますが、吹田市福祉オンブズパーソン制度は職員対応では処理が困難な苦情の受け皿になっており、申立件数としては少ないですが、必要な事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	福祉保健サービス苦情処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00327				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>78</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00327
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「(2)有効性」の①のチェック項目については、本事業は苦情対応であり目標の数値化は困難なことから定量的な指標を設定していないため、1点としました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度末現在での申立件数は、事業を開始した平成12年度が4件、13年度2件、15年度1件、17年度3件、18年度1件、21年度1件、24年度1件及び25年度3件の合計16件となっています。</p> <p>本来、苦情や不満はないほうがよく、申立件数は少数です。数値的な目標を掲げることは事業の趣旨からそぐわないものです。しかし、職員対応では解決できない苦情を処理するためには重要な事業であり、「市民の苦情を処理し、納得、安心していただく」という目標に対しては、意義あるものといえます。</p> <p>迅速性としては、職員対応よりは苦情処理に時間を要するが、申立てから60日以内に通知等することが規則で定められています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

市民の苦情対応窓口としては、市民相談課の公聴相談業務があります。介護保険制度についての苦情は大阪府国民健康保険団体連合会で対応しています。行政に対する権利利益の救済手段としては、行政不服審査法に基づく不服申立て及び審査請求があります。

上記のように、苦情処理の仕組みは様々にありますが、吹田市福祉オンブズパーソン制度は職員対応では処理が困難な苦情の受け皿になっており、申立件数としては少ないですが、必要な事業です。

## 事務事業評価調書

事務事業名	社会を明るくする運動事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和26年度	改正 内容	募集している標語の変更											
(2)	直近の改正	平成18年度													
(3)	根拠法令等	「社会を明るくする運動」吹田市実施要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	個人及び社会を明るくする運動吹田市実施委員会構成団体、機関												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	広報活動、駅頭啓発活動、市民集会や地域集会の開催等によって、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生についての市民の理解を深めます。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生についての市民の意識が高まり、犯罪の減少に繋がります。													
(7)	事業概要	市と吹田地区保護司会、吹田市自治会連合協議会、吹田防犯協議会など市内41団体で構成する「社会を明るくする運動」吹田市実施委員会が、7月を強調月間として、犯罪や非行の防止と罪を犯した人々への更生への理解について、市民への広報活動、市内各駅頭での啓発活動、市民集会や地域集会等の開催を行います。実施委員会は独自の会計で運営されており、市は啓発用資材購入費など運動に係る経費の一部を事業費として実施委員会会計とは別に支出しています。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		462	409	501	466	519							
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40						
			総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	3,268						
		総事業費(A+B)		3,782	3,588	3,842	3,807	3,787							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,782	3,588	3,842	3,807	3,787							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			3,782	3,588	3,842	3,807	3,787								
財源計(C+D)		3,782	3,588	3,842	3,807	3,787									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	各地域における地域集会開催件数	目標値	(単位:件)	34.00	34.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	25.00	26.00		
			達成度(%)		73.5	76.5		
	目標値の積算方法	市内全地区(34地区)での開催件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		143.52	146.42	
				一般財源(単位:千円)		143.52	146.42	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②			目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	市民集会、地域集会に多くの市民が参加し、各地域に標語パネルが掲示されます。			達成状況	毎年、各地域からの協力を得て実施することで、この運動の趣旨が市民に広く周知されています。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		近年の犯罪情勢をみると再犯者の増加など様々な課題があり、今後も犯罪や非行の予防、罪を犯した人たちの更生に対する市民の理解を深めること、青少年の健全育成の活動を強化することは重要であると考えます。このため、事業の継続的な実施が必要です。事業実施にあたり、市民集会等の実施についてはより多くの市民の参加が得られるような工夫が必要になってきます。					

# 事務事業分析シート

所属名	地域福祉室福祉総務課	事業名	社会を明るくする運動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00328				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	地域福祉室福祉総務課	事務事業番号	00328
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

社会を明るくする運動吹田市実施委員会では、毎年、実施状況を振り返り、その反省点の改善に努めています。平成27年度も、啓発パネルの購入への働きかけを強化し、地域集会の開催協力を各地域に呼びかけ、拡充しました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「社会を明るくする運動」は法務省主唱の全国的な運動であり、本市においても市内41団体で構成された実施委員会を結成し、啓発活動を展開している状況です。</p> <p>7月は運動強調月間として、市内各地域では地域集会の開催、啓発ちらしの回覧やのぼりの設置を実施しています。さらに毎年、標語パネルの掲示による協力を地域に依頼し、運動の趣旨をPRする広報活動を行い、犯罪や非行の防止、更生保護についての市民の意識向上を図っています。市はこれらの活動に対し、実施委員会の構成団体の一つとして参加しています。このような市民と行政が一体となって市内一円での大規模な啓発活動を行うことは大変有意義であり、今後も継続して実施していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「社会を明るくする運動」は法務省が主唱する全国的な取り組みです。



## 事務事業評価調書

事務事業名	社会福祉活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和45年度	改正 内容	社会福祉活動補助金等交付要領のうち、社会福祉活動に係る改正。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	(福)吹田市社会福祉協議会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された地域福祉の推進を目的とする団体です。社会福祉協議会が行う地域福祉活動のための経費に対し補助金を交付し安定した事業実施を支援します。 地区福祉委員会活動の活性化等の地域福祉の推進が図られます。												
(7) 事業概要	(福)吹田市社会福祉協議会が行う地域福祉活動に対し補助を行います。これにより、地域福祉活動推進のための組織強化、世代間交流等の小地域ネットワーク推進活動事業の推進を図ります。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		55,034	53,877	61,807	56,970	62,480							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.50						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	4,085						
	総事業費(A+B)		57,524	56,262	64,313	59,476	66,565							
	特定財源(C)		6,421	6,596	6,351	6,575	6,817							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	6,421	6,596	6,351	6,575	6,817							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		51,103	49,665	57,962	52,901	59,748							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		51,103	49,665	57,962	52,901	59,748								
財源計(C+D)		57,524	56,261	64,313	59,476	66,565								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(福)吹田市社会福祉協議会										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	(福)吹田市社会福祉協議会が実施する地域福祉活動や、地区福祉委員会への小地域福祉活動推進事業に対し補助を行いました。		目標	継続的な福祉事業の実施により地域福祉を推進します。	
	②	成果内容	小学校区を単位とした地区福祉委員会において、子育てサロンやふれあい昼食会、世代間交流等の事業が実施されました。社会福祉協議会による地域福祉を推進するための事業が実施されました。		達成状況	地域福祉活動推進のための取組みが計画的に行われるとともに、各地域でも世代間交流等の小地域ネットワーク活動が実施されました	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本市地域福祉計画にも掲げている公民協働による地域福祉の充実を図るため、その中心的な担い手である同協議会の安定した事業実施を支援することが重要です。したがって、当該事業は今後も継続的に実施していく必要があります。また、状況に応じて、より効果的な支援方策の検討が必要です。</p> <p>このたび、福祉団体への活動補助事業のあり方を整理したことに伴い、平成28年度からは当該事業名を地域福祉推進活動補助事業へと改正したうえで、引き続き同協議会の活動への補助を行うものとしします。</p>				

事務事業分析シート

所属名	福祉部福祉総務課	事業名	社会福祉活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00329				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉部福祉総務課	事務事業番号	00329
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業では市内各地域において展開されている小地域ネットワーク活動や各地区福祉委員会の活動を支援するものであり、市内の各地域社会における住民同士のつながりづくりに大きく貢献しています。本事業の補助金交付対象団体である吹田市社会福祉協議会は各地区福祉委員などの地域住民に対し自主的に地域福祉活動を推進することを呼びかけており、それぞれの地域ごとの特性を生かした活動の促進に寄与しています。

同協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

なお、平成27年度中に各福祉団体への活動補助事業のあり方を整理したことに伴い、平成28年度からは当該事業名を地域福祉推進活動補助事業へと改正したうえで、引き続き同協議会の活動への補助を行う方針です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(福)吹田市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中心的な存在として活動する団体であり、概ね小学校区を単位とした地区福祉委員会を中心に展開される小地域ネットワーク活動の支援など、本市の地域福祉活動を推進していくうえで重要な役割を担っています。このため、同協議会が安定した活動を継続して実施できるよう支援することが重要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	保護司活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費					
(2)	直近の改正	平成16年度							
(3)	根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節 4	細節 10				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田地区保護司会						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	活動に要する経費に対して補助金を交付し、保護司活動を支援します。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	保護司活動の推進が図られます。							
(7)	事業概要	犯罪予防等に係る広報活動や市民啓発活動、研修活動等保護司活動の推進に要する経費の支出額に対して、38万円を限度として補助します。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 3	項 1	目 1	大事業 5	中事業 2	小事業 1	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		380	380	380	380	0	
		人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00
			総額(B)	千円	3,320	3,179	3,341	3,341	0
		総事業費(A+B)		3,700	3,559	3,721	3,721	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		3,700	3,559	3,721	3,721	0	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	3,700		3,559	3,721	3,721	0			
財源計(C+D)		3,700	3,559	3,721	3,721	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田地区保護司会				
②									
③									
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	吹田地区保護司会の活動経費に対し補助を行いました。			目標	吹田地区保護司会の活動を支援し、更生保護活動の推進を図ります。
	②	成果内容	保護司会の活動として、会報誌の発行、学校との連携強化事業、保護観察対象者の就労支援等が実施されました。			達成状況	更生保護活動が安定して実施され、犯罪や非行の無い社会の実現に向けた取組みが推進されました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		当該事業は、吹田保護区で活動する保護司で構成された団体が、犯罪や非行のない社会の実現を目指して行う犯罪予防、処遇支援、学校との連携強化などの活動に必要な経費に対し補助金を交付することで、保護司会の活動を財政的な面から支援するものです。対象団体は本市の更生保護推進を担う存在であるため、今後もその活動を支援していくとともに、より効果的な支援方策を検討する必要があります。				



事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	保護司活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00330				

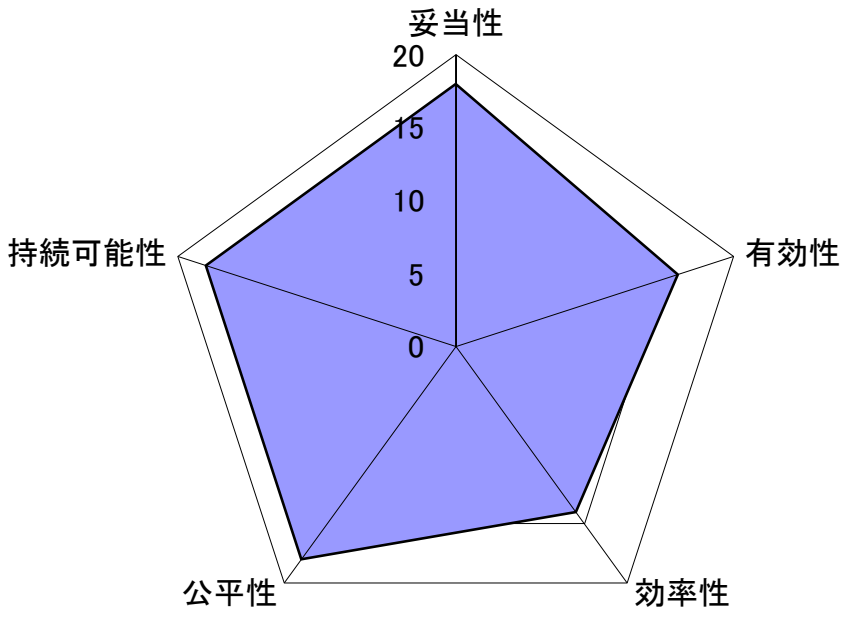
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00330
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The scale on the vertical axis (labeled '妥当性') ranges from 0 to 20 in increments of 5. The other axes are labeled '有効性', '効率性', '公平性', and '持続可能性'. The chart shows the following approximate scores: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 12, 公平性: 8, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

・保護司会は、犯罪や非行のない社会の実現に向けて、犯罪予防活動、処遇支援活動、学校との連携強化、各種研修などの活動を行っており、非常に重要な存在です。平成27年度の活動については、犯罪予防等の啓発を目的として会報誌を発行し、市内関係機関・団体等に配布しました。また、学校との連携強化を図るために市内中学校等との懇談会を3回実施しました。

本市の更生保護推進の中心的存在である保護司会が、今後もこのような活動を継続的に実施できるよう支援することが必要です。

・平成27年度中に福祉団体への活動補助事業のあり方を整理したことに伴い、平成28年度から当該事業については民生委員・児童委員活動補助事業及び献血推進活動補助事業と統合し、福祉活動補助事業へと改正したうえで、引き続き同協議会の活動への補助を行うものとします。なお、同事業においては福祉総務課が所管する各福祉活動にかかる資質向上のため、各種研修活動にかかる補助への拡充もあわせて行っています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	民生委員・児童委員活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2)	直近の改正	平成16年度													
(3)	根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市民生・児童委員協議会												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	活動に要する経費に対して補助金を支出し、民生委員・児童委員活動を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	民生委員・児童委員活動の支援を通じ、地域福祉の推進が図られます。													
(7)	事業概要	民生委員・児童委員の委員活動、児童健全育成などにかかる啓発活動や研修活動等、民生委員・児童委員活動の推進に要する経費の支出額に対して11,100,000円を限度として支出します。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	5	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		11,100	11,100	11,100	11,100	12,595							
		人件費	職員数	1.50	1.20	1.50	1.50	2.70							
			総額(B)	12,450	9,537	12,528	12,528	22,059							
		総事業費(A+B)		23,550	20,637	23,628	23,628	34,654							
		特定財源(C)		451	445	456	445	456							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	451	445	456	445	456							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		23,099	20,192	23,172	23,183	34,198							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	23,099		20,192	23,172	23,183	34,198									
財源計(C+D)		23,550	20,637	23,628	23,628	34,654									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市民生・児童委員協議会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	民生委員・児童委員数(3月1日時点)	目標値	(単位:人)	507.00	507.00	/
			実績値	(単位:人)	493.00	494.00		
				達成度(%)		97.2	97.4	
	目標値の積算方法	民生委員・児童委員の定数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	41.86	47.83		
				一般財源(単位:千円)	40.96	46.93		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) の3が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
①	活動内容	地域における身近な相談者として地域福祉の中核を担っている民生委員・児童委員で構成される吹田市民生・児童委員協議会の活動に対し補助しました。			目標	地域社会における問題の解決に尽力する民生委員・児童委員活動を支援し、地域福祉の推進を図ります。		
		②	成果内容	民生委員により、住民の相談への対応など各地域での諸問題の解決に向けた積極的な活動が行われました。その他、主催事業の開催や研修会の実施など、地域福祉推進に寄与する活動が行われました。			達成状況	積極的な民生委員活動が行われることで、地域住民の安心・安全な暮らしに貢献しました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>少子高齢化が進み、また孤独死や自殺件数が増加している昨今、地域における身近な相談相手としての民生委員・児童委員の役割はますます増大しています。また、市民と行政が連携して進める地域福祉推進の要としての役割も一層求められています。地域福祉推進の要であり市福祉行政の協力者でもある民生委員・児童委員の活動に対し、より効果的な支援方を検討するとともに、引き続き補助していくことが必要です。</p>					

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	民生委員・児童委員活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00331				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00331
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>民生委員制度は、制度発足当初は生活困窮者への対策を主眼に置いたものでした。しかし、近年は地域住民の抱える課題が複雑・多様化してきていることに伴い、住民の最も身近な相談相手という性質を持つ民生委員の活動内容は高齢者に関する問題をはじめ子育てや障がい者に関する問題等多岐にわたっています。また、それに加えて行政からの事業協力も多く、日々それらに取り組み続けている民生委員・児童委員・主任児童委員は、まさに地域福祉推進における重要な役割の担い手といえます。</p> <p>また、吹田市民生・児童委員協議会としても、随時民生委員としての資質向上を図るための研修や、児童健全育成を目的としたイベントの開催及び他団体主催イベントへの参加などに積極的に取り組んでいるほか、それら各事業の運営や民生委員活動の展開にかかる各種会議を定期的で開催するなど、その活動内容は多岐にわたっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度中に福祉団体への活動補助事業のあり方を整理したことに伴い、平成28年度から当該事業については保護司活動補助事業及び献血推進活動補助事業と統合し、福祉活動補助事業へと改正したうえで、引き続き同協議会の活動への補助を行うものとします。なお、同事業においては福祉総務課が所管する各福祉活動にかかる資質向上のため、各種研修活動にかかる補助についての拡充もあわせて行っています。



## 事務事業評価調書

事務事業名	献血推進活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2) 直近の改正	平成16年度													
(3) 根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市献血推進協議会											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	献血推進事業に要する経費に対して補助金を交付し、献血活動を支援します。												
(7) 事業概要	地域における献血思想の普及や大阪府赤十字血液センターの移動採血車による地域献血の普及等献血推進活動に要する経費の支出額に対して補助します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	5	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		515	515	515	515	0							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	0						
	総事業費(A+B)		2,175	2,105	2,186	2,186	0							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,175	2,105	2,186	2,186	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,175	2,105	2,186	2,186	0								
財源計(C+D)		2,175	2,105	2,186	2,186	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市献血推進協議会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 地域献血実施回数(献血車の配車台数)	目標値	(単位:台)	120.00	120.00	120.00
			実績値	(単位:台)	149.00	154.00	
			達成度(%)		124.2	128.3	
	目標値の積算方法 献血車の配車希望目標数 35地域×3回+定例(1回)×12か月+ キャンペーン等(3回)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.13	14.19		
			一般財源(単位:千円)	14.13	14.19		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 献血受付者数(延べ人数)	目標値	(単位:人)	7,200.00	7,200.00	7,200.00
			実績値	(単位:人)	7,034.00	6,716.00	
			達成度(%)		97.7	93.3	
	目標値の積算方法 地域献血実施回数(目標値)×60人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.30	0.33		
			一般財源(単位:千円)	0.30	0.33		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>献血推進協議会は、誰もが安心して輸血が受けられるよう献血者や輸血用血液を確保するために、地域における献血会場の確保・設営に協力し、チラシやポスター等でその内容や献血日程の周知を行うほか、献血普及のための街頭啓発活動を行っています。平成27年度では地域で合計164回の献血を実施し、また、そのうち毎年12月の献血キャンペーンでは市内2ヶ所で街頭広報活動を実施しています。これらの活動は市民の理解を得て安全な血液を安定して確保するためには欠くことのできないものです。今後も本市における献血推進活動を維持していくには必要な事業であり、より効果的なものにするための検討が必要です。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	献血推進活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00332				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00332
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

・献血推進協議会は、誰もが安心して輸血が受けられるよう献血者や輸血用血液を確保するために、地域における献血会場の確保・設営に協力し、チラシやポスター等でその内容や献血日程の周知を行うほか、献血普及のための街頭啓発活動を行っています。平成27年度では地域で合計164回の献血を実施し、6,716人から協力を得ています。また、毎年、12月の献血キャンペーンでは市内2ヶ所で街頭広報活動を実施しています。これらの活動は市民の理解を得て、安全な血液を安定して確保するためには欠くことのできないものです。今後も本市における献血推進活動を維持していくには必要な事業です。

・平成27年度中に福祉団体への活動補助事業のあり方を整理したことに伴い、平成28年度から当該事業については保護司活動補助事業及び民生委員・児童委員活動補助事業と統合し、福祉活動補助事業へと改正したうえで、引き続き同協議会の活動への補助を行うものとなります。なお、同事業においては福祉総務課が所管する各福祉活動にかかる資質向上のため、各種研修活動への補助についての拡充もあわせて行っています。

## 事務事業評価調書

事務事業名	日常生活自立支援事業補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成12年度	改正 内容	助成の内容の変更											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法人に対する助成に関する条例・施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		事業に要する経費のうち市長が適当と認めるものの総額から(福)大阪府社会福祉協議会(以下、府社協)が支払う委託料その他の助成対象事業に係る収入の額を控除した額の範囲内。											
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	府社協が実施する日常生活自立支援事業の一部について委託を受けている社会福祉法人												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	補助金を交付することにより、日常生活自立支援事業を安定して行い、かつ当該事業を継続して実施できるようにします。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人たちの福祉の向上につながります。												
(7) 事業概要	介護保険のもとでの福祉サービスは、自らがサービスを選択し契約することになりますが、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない者は、自らの判断で適切なサービスを受けることが困難な実情があります。そのため、地域で安心して生活できるよう(福)吹田市社会福祉協議会が行う福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを提供する日常生活自立支援事業に対し、経費の一部を補助します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,996	6,959	8,766	7,326	9,205							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	1,634						
	総事業費(A+B)		10,826	7,754	9,602	8,162	10,839							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		10,826	7,754	9,602	8,162	10,839							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		10,826	7,754	9,602	8,162	10,839								
財源計(C+D)		10,826	7,754	9,602	8,162	10,839								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	① (福)吹田市社会福祉協議会												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	吹田市社会福祉協議会が府社協との委託契約に基づき、認知症高齢者、知的障がい者等を対象に、福祉サービスの利用援助、日常的金銭サービス等を提供している事業の経費の一部を補助しています。			目標	日常生活自立支援事業が継続的に実施され、判断能力が十分でない要介護者が地域で安心して生活できるようになること。
	②	成果内容	認知症や知的障がい等により判断能力が不十分な人のうち、常に100名程度の方が福祉サービス等を利用しており、地域で自立した生活を送ることが可能となっています。			達成状況	恒常的に契約待機者がいる状態ですが、専門員や生活支援員により、継続的に事業が実施されています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		(福)吹田市社会福祉協議会が、日常生活自立支援補助事業を継続的かつ安定して実施することにより認知症高齢者や障がい者等の福祉の向上につながっています。 平成26年度から助成内容を見直し、補助対象の範囲を拡充しましたが、本事業のさらなる推進を目指して補助内容についての検討を続けてまいります。				



## 事務事業分析シート

所属名	福祉部福祉総務課	事業名	日常生活自立支援事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00333				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	福祉部福祉総務課	事務事業番号	00333
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業では、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が十分でない人々を対象に、地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理などを行い、生活を支援しています。本事業の推進なくしては、対象となる市民の日常生活に大きな支障をもたらすことは想像に難くないため、今後も変わらぬ水準で本事業に取り組んでゆく必要があります。

また、地域において本事業を推進する社会福祉法人吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>日常生活自立支援事業は、(福)吹田市社会福祉協議会が(福)大阪府社会福祉協議会からの委託事業として行っています。従前は、(福)大阪府社会福祉協議会から(福)吹田市社会福祉協議会に支払われる委託料の2分の1を上限として補助金を交付していましたが、平成26年度に当該事業の継続的な実施を支援するために補助対象経費を変更しました。平成27年度においては、対象となる事業経費から事業収入額を差し引いた金額を上限として補助金を交付しました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉計画推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	全庁的な附属機関等の見直しに伴い、執行機関の附属機関に関する条例を一部改正し、吹田市地域福祉計画推進委員会の組織及び運営に必要な事項を定めた吹田市地域福祉計画推進委員会規則を制定しています。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	社会福祉法、吹田市地域福祉計画推進委員会規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果(どのような効果が得られるのか)	いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり(第3次地域福祉計画の目標)												
(7) 事業概要	第3次吹田市地域福祉計画(平成28年度～平成32年度)の推進に向けた検討を行います。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	9	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,554	3,249	3,894	3,647	760							
	人件費	職員数	人	1.50	1.30	1.50	1.60	1.50						
		総額(B)	千円	12,450	10,332	12,528	13,364	12,255						
	総事業費(A+B)		16,004	13,581	16,422	17,011	13,015							
	特定財源(C)		1,375	1,366	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	1,375	1,366	0	0	0							
	市負担(D)		14,629	12,214	16,422	17,011	13,015							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		14,629	12,214	16,422	17,011	13,015								
財源計(C+D)		16,004	13,580	16,422	17,011	13,015								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市地域福祉計画推進委員会を5回開催し、地域福祉計画の進行管理や次期計画の策定に向けた検討を行いました。また、市民を対象とした地域福祉市民フォーラムを開催しました。			目標	「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」を実現するため、地域福祉の推進を図ります。
	②	成果内容	地域福祉の推進を図るとともに、地域住民の福祉意識を醸成します。			達成状況	地域福祉計画推進委員会からの意見を聞きながら地域福祉施策の検討を行うことで、より効果的な地域福祉の推進を図りました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>地域社会では人と人のつながりが希薄化しつつあり、引きこもりや高齢者の孤独死、虐待など、行政等の関係機関が発見することが難しい新たな課題が表出しています。これらの課題は従来の社会福祉の取組だけで解決することは困難であり、地域住民が地域の問題として認識し、さまざまな社会資源と連携して問題を解決するという地域福祉の推進が必要です。</p> <p>社会福祉法では、地域福祉活動の推進は主に住民が担うことが想定されていますが、活動の条件整備や住民参加の促進などの後方支援は行政等を中心に進めることが求められています。今後も市民の自主的な地域福祉活動を活発化し、公民協働で市民一人ひとりの地域でのくらしを支える仕組みづくりを行っていくため、本事業を継続する必要があります。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉計画推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00334				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00334
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

地域福祉市民フォーラムの開催をはじめとする、様々な地域福祉施策の取組みを実施しており、事業の妥当性、公平性、持続可能性は一定程度、達成されていると考えます。また、平成27年3月には、第3次吹田市地域福祉計画を策定しており、同計画に沿ってより一層の地域福祉の増進を図るものです。しかし、有効性としては、本事業の目標が「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」と具体的ではないため、取組みの活動や成果を定量的に示すことが困難です。



## 事務事業評価調書

事務事業名	地域支えあいネットワーク推進事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正 内容	地域支えあいネットワーク整備推進モデル事業から本格実施に移行											
(2) 直近の改正	平成23年度													
(3) 根拠法令等	地域支えあいネットワーク推進事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、団体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	地域における要援護者に対する支援のためのネットワークを構築します。地域住民同士の交流を促進します。												
(7) 事業概要	コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーターを配置し、地域における要援護者等の支援及び地域の総合相談を行うとともに、支援のためのネットワークを構築します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	10	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		109,975	106,546	111,588	103,825	102,648							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.40	0.40	0.50						
		総額(B)	千円	2,490	2,385	3,341	3,341	4,085						
	総事業費(A+B)		112,465	108,931	114,929	107,166	106,733							
	特定財源(C)		23,473	23,361	23,557	24,365	23,140							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	23,473	23,361	23,557	24,365	23,140							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		88,992	85,569	91,372	82,801	83,593							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		88,992	85,569	91,372	82,801	83,593								
財源計(C+D)		112,465	108,930	114,929	107,166	106,733								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(福)吹田市社会福祉協議会										
			②											
			③											
	主な委託内容		地域における支援のネットワーク構築											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 住民活動コーディネーター数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	162.00	190.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 地域の福祉活動団体等への支援であり、必要な支援は各団体等の状況によるため目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	672.41	564.03		
			一般財源(単位:千円)	528.21	435.79		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難 指標 などで 場合 示 合 ず		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
③	活動内容	目標					
		達成状況	コミュニティソーシャルワーカー、ボランティアコーディネーターによる支援は、地域福祉の推進に貢献しているといえます。				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		この事業は、本市の地域福祉推進のための基盤整備を行うものであり、重要な事業であるといえます。コミュニティソーシャルワーカーやボランティアコーディネーターは、少子高齢化や住民関係の希薄化など様々な課題を抱える現代社会において、要援護者を支援し、地域における支えあいのネットワークを構築するための重要な役割を担っています。今後、更なる地域福祉の充実を図るうえで継続して実施することが必要です。				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉部福祉総務課	事業名	地域支えあいネットワーク推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00335				

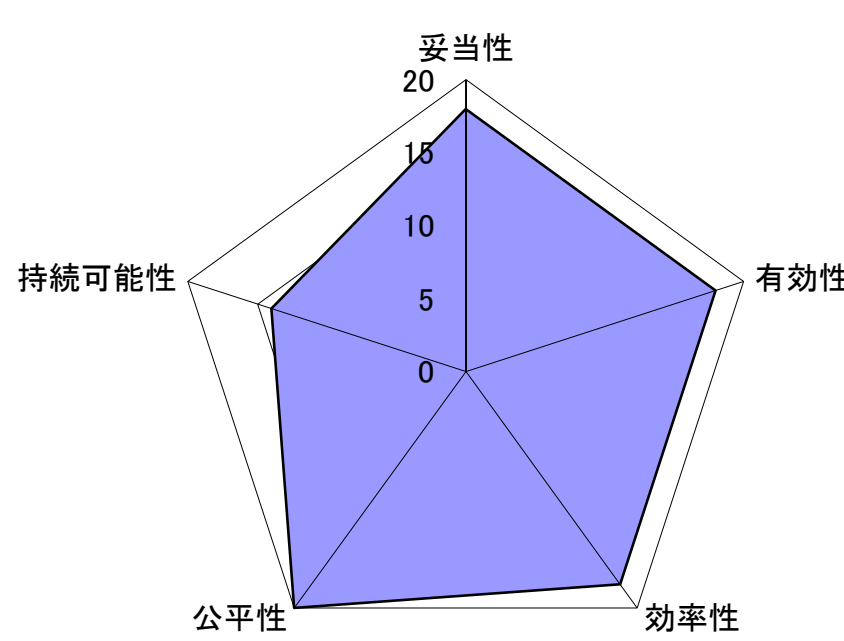
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉部福祉総務課	事務事業番号	00335
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>この事業は、地域福祉の推進を目的として策定された吹田市地域福祉計画に基づいて具体化されたものであります。地域における住民同士の関係が希薄になってきている中、要援護者に対する総合相談や行政機関へのコーディネートなど様々な支援を行うコミュニティソーシャルワーカーが果たす役割は重要になってきています。</p> <p>また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの提供を担うボランティアに対する支援を行うボランティアコーディネーターも、地域福祉の推進に欠かせないものです。これらのことから、当該事業は地域福祉を推進していくうえで大変重要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	災害時要援護者支援事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容	災害時要援護者名簿作成の義務化(災害対策基本法)											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法ほか													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	災害時における要援護者(自主避難が困難な高齢者や障がい者等)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	災害時における要援護者について、計画的・組織的な安否確認と適切な避難支援のシステムを構築します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高齢者や障がい者等の災害時要援護者が安心して生活できる地域ネットワークが構築されます。													
(7)	事業概要	<p>災害時に避難するために支援を必要とする災害時要援護者に対する支援体制の整備を行います。          災害時要援護者の安否確認・避難誘導等の支援を行うネットワークの構築のため、災害時要援護者名簿を作成し、個人情報の提供に同意した要援護者情報を地域支援組織に提供します。          災害発生後、避難所生活において特別な配慮を必要とする要援護者のための福祉避難所の指定等を行います。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	1	大事業	12	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,066	679	851	1,847	2,127							
		人件費	職員数	人	0.50	0.60	1.00	1.00	1.50						
			総額(B)	千円	4,150	4,769	8,352	8,352	12,255						
		総事業費(A+B)		5,216	5,448	9,203	10,199	14,382							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
(内訳)	市負担(D)		5,216	5,448	9,203	10,199	14,382								
	地方債		0	0	0	0	0								
	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		5,216	5,448	9,203	10,199	14,382								
財源計(C+D)		5,216	5,448	9,203	10,199	14,382									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	塚田印刷(株)										
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容					同意確認書発送用封筒の作成、封入封緘業務								
		①													
		②													
		③													
	<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 地域支援組織数	目標値	(単位:団体)	34.00	34.00	34.00	
			実績値	(単位:団体)	29.00	29.00		
			達成度(%)		85.3	85.3		
	目標値の積算方法	市内34地区(小学校単位)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		187.86	351.69	
				一般財源(単位:千円)		187.86	351.69	
	②	指標内容	現在指定している福祉避難所収容人数	目標値	(単位:人)	1,300.00	2,000.00	2,000.00
実績値				(単位:人)	855.00	1,113.00		
達成度(%)				65.8	55.7			
目標値の積算方法		その年度の目標数値を設定しています。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.37	9.16	
				一般財源(単位:千円)		6.37	9.16	
(2) 成果指標	①	指標内容 福祉避難所の指定施設数	目標値	(単位:施設)	20.00	30.00	35.00	
			実績値	(単位:施設)	14.00	27.00		
			達成度(%)		70.0	90.0		
	目標値の積算方法	その年度の目標数値を設定します。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		389.14	377.74	
				一般財源(単位:千円)		389.14	377.74	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>地域における災害時要援護者支援ネットワーク構築の推進には、災害時要援護者支援について広く周知を図るとともに、地域支援組織に対し支援体制づくりへの働きかけを継続的に行うことが必要です。</p> <p>災害発生後についても、要援護者が生活していくための福祉避難所の必要性が重視されており、今後も更なる福祉避難所の指定及び災害発生時における福祉避難所の設置、運営の検討や、福祉事業者等との連携による支援体制の整備に取り組む必要があります。</p>					



## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害時要援護者支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00336				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00336
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「向こう3軒両隣り」という近所付き合いを大切にする言葉がありますが、日頃から地域でのつながりを大切にするのが、いざというときに助けあえる信頼関係を築いていくことが、災害時要援護者事業には必要不可欠です。このような考え方のもと、地域では様々な取組を通じて災害時要援護者への支援を実践されています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>東日本大震災や、本年では熊本地震等、近年大きな地震等が発生しており、市民の大規模災害への不安が増すと同時に、災害発生時の対応への関心が高まっていると考えられます。</p> <p>災害発生時には、高齢者や障がい者等の要援護者は、必要な情報の入手や自力での避難が困難なことから被害を受けやすい状況にあり、これらの要援護者に対する避難支援体制の構築が求められています。加えて、災害発生後の避難生活においても、要援護者にとっては一般的な指定避難所での生活は健康面や精神面への影響が懸念されることから、福祉避難所の整備についても必要性が認識されているところです。</p> <p>災害発生時における要援護者への支援が適切かつ円滑に実施できるよう、避難支援体制の整備や地域における要援護者支援ネットワークの構築が重要です。また、災害時要援護者名簿の作成が市町村に義務づけられたこともあり、今後は関連部局と連携をはかりながら取組んでいく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	ふれあい昼食会事業補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正内容	助成額を予算の範囲内で行うことを明記											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	吹田市ふれあい昼食会事業補助金交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	(福)吹田市社会福祉協議会											
	結果(どのような効果が得られるのか)	ひとり暮らしの高齢者を対象にしたふれあい昼食会を実施した地区福祉委員会に対し、一定以上開催したも のについて(福)吹田市社会福祉協議会を通じて助成することで、ふれあい昼食会事業の内容充実を図りま す。 市内各地域でふれあい昼食会の活動が促進されることで地域福祉の推進が図られます。												
(7) 事業概要	市内にある33地区福祉委員会がひとり暮らしの高齢者を対象に実施しているふれあい昼食会事業のうち、年5回以上の実施分について(福)吹田市社会福祉協議会を通じて参加者1名あたり750円を限度として補助金を交付しています。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		3,750	3,368	3,750	3,212	3,750							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
	総事業費(A+B)		4,580	4,163	4,586	4,048	4,567							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	13	166						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	13	166							
	(内訳)	市負担(D)		4,580	4,163	4,586	4,035	4,401						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		4,580	4,163	4,586	4,035	4,401								
財源計(C+D)		4,580	4,163	4,586	4,048	4,567								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	(福)吹田市社会福祉協議会											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ふれあい昼食会高齢者参加者数(5回目以降分)	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:人)	4,217.00	4,091.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 ふれあい昼食会は各地区福祉委員会で、それぞれの状況に応じた形態で開催しているため、目標値の設定は困難です。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.99	0.99		
			一般財源(単位:千円)	0.99	0.99		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	地区福祉委員会が実施するふれあい昼食会が充実し、高齢者への見守りや住民同士が交流する機会が増えるなど、地域福祉の推進につながっています。			達成状況	各地区で実施状況が異なりますが、多くの高齢者や福祉委員が参加し、交流の場となっており、地域福祉の推進につながっています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		ふれあい昼食会は、地域における高齢者の見守り、相談、発見の場であるとともに、高齢者の孤立化を防ぎ、地域での交流を促進するものです。年間の参加者数も多く、近年では高齢世帯者の参加が可能となるよう希望する声も多くあります。地域福祉の推進につながる事業であり、今後も継続していくことが必要です。				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉部福祉総務課	事業名	ふれあい昼食会事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00340				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉部福祉総務課	事務事業番号	00340
-----	----------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

ふれあい昼食会は、地域の一人暮らしの高齢者が孤立しないよう、地域福祉活動の一環として実施されています。高齢者が昼食会に参加することで、健康増進、寝たきり予防、仲間づくりの効果を得ると同時に、地域での見守り活動につながる事業です。本事業の推進によりふれあい昼食会の内容を充実させることは、ひいては地域福祉の向上にもつながることであるため、今後さらなる高齢化が見込まれる地域社会にとっては必要不可欠です。

地域において本事業を推進する社会福祉法人吹田市社会福祉協議会は社会福祉法に基づいて設置されており、本市内の各地域における地域福祉活動推進において中核的な役割を果たしています。本市としてその活動を支援することはきわめて重要であるため、今後も引き続き同事業を推進してまいります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の増加等により、近年では年間の参加者数が15,000人程で推移しており、地域における需要は高いといえます。</p> <p>また、高齢者世帯の参加についての要望も多く、今後、支援策の検討が見込まれます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	災害救援活動補助事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正 内容	補助対象経費											
(2) 直近の改正	平成16年度													
(3) 根拠法令等	吹田市社会福祉活動補助金等交付要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市赤十字奉仕団												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	災害救援事業に要する経費に対して補助金を交付し、事業を支援します。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	災害救援事業の推進が図られます。												
(7) 事業概要	火災、風水害、地震その他の災害に支給する災害見舞用毛布等災害用備蓄品の購入に要する経費の支出額に対して16万円を限度として補助します。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	4	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		160	160	160	160	160							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		1,820	1,750	1,831	1,831	1,794							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		1,820	1,749	1,831	1,831	1,794							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,820	1,749	1,831	1,831	1,794								
財源計(C+D)		1,820	1,749	1,831	1,831	1,794								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市赤十字奉仕団											
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 火災、風水害、地震等で被災した世帯に対し、吹田市赤十字奉仕団が配付した毛布の配付世帯数	目標値	(単位:世帯)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:世帯)	8.00	2.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法 火災等の災害発生時に支援を行うものであるため、目標値を設定することができません。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	218.75	915.50		
			一般財源(単位:千円)	218.75	915.50		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	火災等で被災した世帯に対し毛布等の生活用品を災害見舞品として配付し、被災者への支援を行いました。			達成状況	災害発生時に支援を行うことにより被災者の負担を軽減することができ、災害救援活動の重要な役割を果たしているといえます。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		災害時における毛布等の必要品の配付は被災者救援活動に欠かせないものであり、ニーズが高いといえます。また、常に配付できるように在庫等の確保も必要です。これらのことから、今後も継続できるよう支援する必要があります。				

事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	災害救援活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00341				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00341
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	10	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析															

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

赤十字奉仕団の目的は、明るく住みよい地域社会をつくる活動を推進することにあります。当該補助金は火災等の災害が発生した際に被災者に配付している災害見舞品(毛布等)の経費を対象にしていますが、この災害見舞品は、火災、風水害等で公民館等の施設に避難した被災者に対し配付しているもので、被災者救援活動には欠かすことのできないものです。

## 事務事業評価調書

事務事業名	臨時福祉給付金給付事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	淵上 恭子

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正内容	平成27年度は対象者1人につき6,000円を支給。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	平成27年度臨時福祉給付金支給要領、吹田市臨時福祉給付金支給要綱													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	5	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	平成27年(2015年)1月1日現在で本市に住民票があり、平成27年度(2015年度)分の市民税が非課税者の方で、課税者の扶養親族等となっておらず、かつ生活保護等を受給していない方。											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	支給要件を満たす方に給付金を支給します。												
		消費税の引上げの影響による負担の軽減を図ります。													
(7)	事業概要	<p>平成26年4月からの消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響を鑑み、暫定的・臨時的な措置として、支給要件を満たす方に給付金を支給します。</p> <p>平成27年度は対象者1人につき6,000円を支給しました。</p> <p>具体的には、支給要件を満たすと思われる方に申請書を郵送で送付し、郵送等により申請書の提出を受け、口座振込等により給付金を支給しました。制度の案内や申請書の記入の仕方などを説明するために、コールセンターや特設窓口を設置しました。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	19	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		950,698	781,756	496,819	392,929	297,372							
		人件費	職員数	人	1.00	1.50	1.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	8,300	11,921	8,352	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		958,998	793,677	505,171	409,633	313,712							
		特定財源(C)		950,698	781,756	496,819	392,929	297,372							
		(内訳)	国		950,677	781,746	496,796	392,918	297,354						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		21	10	23	11	18						
		市負担(D)		8,300	11,921	8,352	16,704	16,340							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			8,300	11,921	8,352	16,704	16,340								
財源計(C+D)		958,998	793,677	505,171	409,633	313,712									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	共同印刷西日本(株)										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容				申請書の印刷、封入封緘、発送業務等							
				①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	申請書を送付した世帯数	目標値	(単位:世帯)	43,524.00	44,821.00	45,000.00
			実績値	(単位:世帯)	43,524.00	44,821.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	支給要件を満たす方がいると思われる世帯	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18.24		9.14
				一般財源(単位:千円)		0.27	0.37	
	②	指標内容	市報及びホームページ掲載回数	目標値	(単位:回)	10.00	14.00	14.00
実績値				(単位:回)	10.00	14.00	/	
達成度(%)		100.0	100.0					
目標値の積算方法		市報及びホームページ掲載予定回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		79,367.70		29,259.50
	一般財源(単位:千円)				1,192.10	1,193.14		
(2) 成果指標	①	指標内容	申請受付者数	目標値	(単位:人)	64,411.00	66,682.00	65,000.00
			実績値	(単位:人)	56,118.00	56,654.00	/	
		達成度(%)		87.1	85.0			
	目標値の積算方法	支給対象者見込人数(申請書発送者数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.14		7.23
				一般財源(単位:千円)		0.21	0.29	
	②	指標内容	支給(不支給)決定者数	目標値	(単位:人)	56,118.00	56,654.00	56,000.00
実績値				(単位:人)	55,995.00	56,535.00	/	
達成度(%)		99.8	99.8					
目標値の積算方法		申請受付者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.17		7.25
	一般財源(単位:千円)				0.21	0.30		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>本事業は、申請書の印刷、封入封緘、発送業務やコールセンター業務、窓口業務、振込データ作成業務等を一括委託により実施することで、事務の効率化を図りました。</p> <p>できるだけ多くの対象者に申請をしてもらうために、申請書を簡素化し、支給対象者の把握に努め、申請書を送付するなど取組を進めました。平成27年度業務においては、前年度に支給の方について、振込先の口座情報をあらかじめ申請書に印字し、申請書記入のさらなる簡素化を図りました。市報やホームページ等による制度や受付期間等の広報についても、重視して実施しました。</p> <p>こうした取組により、55,864人の方に、給付金を支給することができました。一方で、一部の方については申請がされず、更なる取組が必要です。</p>					



## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	臨時福祉給付金給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00348				

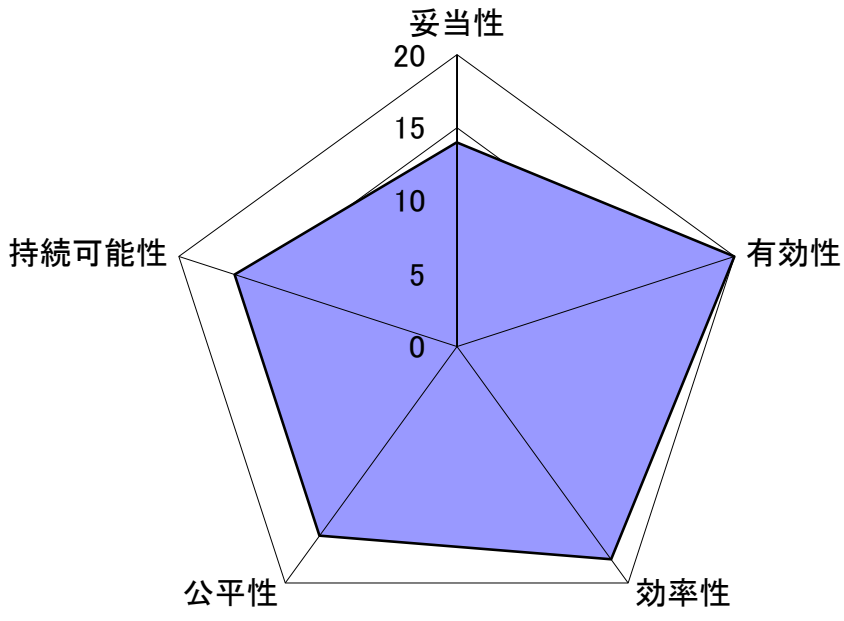
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	00348
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>臨時福祉給付金につきましては、平成26年4月からの消費税率の引き上げに際し、低所得者の負担を鑑み、暫定的・臨時的な措置として実施されています。</p> <p>本市におきましては、申請書の印刷、封入・封緘、発送業務や、コールセンター設置業務、また窓口対応業務などを一括して業務委託することで、事務経費の軽減を図っています。</p> <p>平成27年度業務においては、前年度の給付者について、振込先の口座情報をあらかじめ申請書に印字し、申請書記入のさらなる簡素化を図りました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

臨時福祉給付金については、消費税の再増税に伴う軽減税率が導入されるまで実施されますので、今後の国の景気対策等の経済政策の動向により事業の継続の有無が判断されることとなります。

## 事務事業評価調書

事務事業名	地域福祉推進事業積立事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	山内 薫

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成5年度	改正 内容	設置基金の追加による改正				
(2) 直近の改正	平成27年度						
(3) 根拠法令等	吹田市積立基金条例						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	4	細節	10
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	指定寄附金				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	指定寄附金の地域福祉基金への積立					
(7) 事業概要	<p>市民等からの寄附金を地域福祉基金へ積み立て、基金の果実(利子)を地域福祉サービス推進事業へ活用します。                  地域福祉基金を活用し市が普通財産として取得した土地を、民間事業者に定期借地契約で賃貸することに伴う貸付料収入相当額についても、同基金へ積み立てます。</p>						
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	120	0	720	4,468
	人件費	職員数	0.00	0.07	0.00	0.10	0.10
		総額(B)	0	557	0	804	818
	総事業費(A+B)		0	677	0	1,524	5,286
	特定財源(C)		0	120	0	611	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	120	0	611	0
	市負担(D)		0	0	0	109	4,468
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	109	4,468	
財源計(C+D)		0	120	0	720	4,468	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) の3が困難な場合	①	活動内容	指定寄附金の地域福祉基金への積立て。			目標	市民等からの指定寄附金を地域福祉基金へ積立て、その利息を活用することにより、地域福祉サービスを推進します。
	②	成果内容	地域福祉基金へ積立を行うことによる地域福祉サービスの推進。			達成状況	地域福祉の向上。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民等からの指定寄附金を適正に地域福祉基金へ積み立てています。				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	地域福祉推進事業積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01489				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01489
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	地域福祉基金への積立ては、適正に行われています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業				
担当部名	福祉部	室課名	福祉総務課	室課長名	淵上 恭子

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容					
(2)	直近の改正							
(3)	根拠法令等	低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金支給要領						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	5	細節	10
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	昭和27年4月1日以前生まれの方。平成27年1月1日に吹田市に住民票がある方。平成27年度分の市民税が非課税者の方で、課税者の扶養親族等となっておらず、かつ生活保護等を受給していない方。				
		結果 (どのような効果が得られるのか)	支給要件を満たす方に給付金を支給します。					
(7)	事業概要	<p>一億総活躍社会実現に向け、アベノミクスの成果の均てんの観点や平成29年から実施される年金生活者支援給付金の前倒し的な位置づけになることを踏まえ、低所得の高齢者向けに1人3万円の年金生活者等支援臨時福祉給付金を実施します。平成27年12月の閣議決定及び平成28年1月の国の予算成立を受け、吹田市でも実施することとなったものです。</p> <p>平成28年3月議会において可決された44,776千円の平成27年度吹田市一般会計補正予算により、給付業務に係る委託契約を締結し、申請受付開始に向けた準備を進めました。予算は平成28年度に全額繰越としました。</p>						
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		0	0	0	0	1,020,000
		人件費	職員数	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
			総額(B)	0	0	0	0	16,340
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	1,036,340
		特定財源(C)		0	0	0	0	1,020,000
		(内訳)	国	0	0	0	0	1,020,000
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	0		0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	1,020,000		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	共同印刷西日本(株)			
				②				
				③				
		主な委託内容		申請書の印刷、封入、封緘、発送業務等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	事業計画の作成、対象者の具体的な把握、委託業務に関する手続き、個人情報取り扱いに関する手続き等を行いました。			目標	平成28年5月に申請受付を開始できるよう準備を進めます。
	②	成果内容	平成28年3月1日の予算成立を受け、3月中旬に委託業務を締結しました。			達成状況	必要な準備を進めることができました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>国において平成27年12月に決まった新しい業務で、業務内容に関する情報収集と予算の積算、また委託業務や個人情報の取り扱い等に関する手続き等を短期間で進める必要がありました。そのような中、部内及び関係部局の協力を受け、限られた期間内に手続きを進め、委託契約を締結し、申請受付開始に向けた準備として平成27年度中に行うべき事項を完了することができました。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	福祉総務課	事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事務	事業区分	その他
事務事業番号	01496				

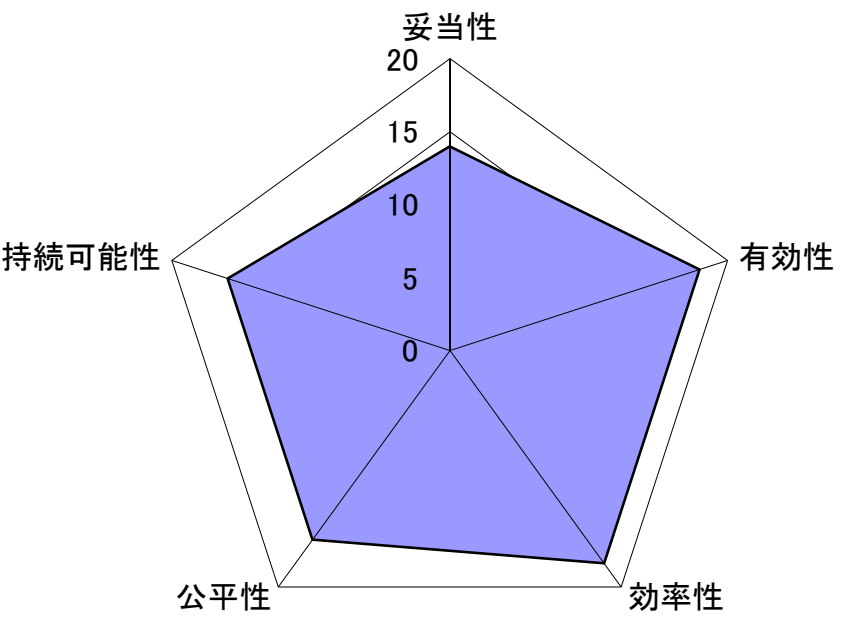
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	<b>82</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	福祉総務課	事務事業番号	01496
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>申請書の印刷、封入・封緘、発送業務や、コールセンター設置業務、また窓口対応業務などを一括して業務委託することで、事務経費の軽減を図っています。 申請書には支給対象者の氏名、住所等、前年度の臨時福祉給付金の給付者については、振込先の口座情報をあらかじめ印字し、申請書記入の簡素化を図りました。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)